


<p>名 称</p>	<p>高崎市立南陽台小学校 P T A</p>
<p>会 員 数</p>	<p>83人（令和5年5月1日現在）</p>
<p>組 織 ・ 運 営</p>	<p>【組織】 ○本部役員会 （会長1・副会長3・書記2・会計2・監査2・顧問1） ○運営委員会 ○学年委員会 ○成人教育委員会 ○保健体育委員会 ○広報委員会</p> <p>【運営】 ○PTA総会（年1回） ○本部役員会・運営委員会（月1回） ○各委員会（適宜） LINEのグループを構築して情報交換している。効率的な活動となるよう共通のグーグルドライブも活用している。 ○Instagramの開設 情報発信を担う広報委員会の仕事量の軽減にもつなげている。</p>
<p>主 な 活 動</p>	<p>「南陽台小つながりプロジェクト」3つの企画・実施 プロジェクト第1弾 未来に向かって</p> <p>○ 令和2年6月1日は、新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした長期休校期間が明け、子供達が登校を再開した日（1年生は入学後初日）である。本プロジェクトは当時のPTA本部役員が中心となり学校再開日に行った活動である。以来、本校では毎年6月1日を「つながりの日」とし「未来に向かって」と題した活動を継続している。例年4月に本部役員がテーマを決め、全児童にカードを配付。子供達が将来の夢を書き持ち寄ったカードを本部役員が貼り合わせ、一枚の大きな絵を完成させるという活動である。これにより子供達が互いの存在を認識し、自己有用感の醸成が図られている。保護者や地域の方々も来校の際は見るのを楽しみにしており、子供達一人一人の事を知るよい機会となっている。令和5年度には、「つながりプロジェクト」が「つながるプロジェクト」になるよう、児童玄関に専用のコーナーを設置。また、本企画を発案した PTA活動費で児童玄関に専用スペースを設置</p>  <p>当時のPTA会長が学校支援コーディネーターとして参画し、理念がつながるよう工夫している。このことが、新たにPTA本部役員となり活動を引き継ぐ際の不安解消にもつながっている。</p>

プロジェクト第2弾 オリジナルチャリティーTシャツの販売

- P T A本部が中心となり、オリジナルチャリティーTシャツの制作・販売をしている。デザインは本部役員が考え、高崎市教育委員会の基本理念である「Every child matters ～すべては子どもたちのために～」をデザインに入れることで、学校、家庭、地域に理念の共有・浸透を図っている。現在、多くの家庭や地域の賛同を得ており、その収益でテントを購入したり、校内の清掃用具の買い換えが実現したりしている。普段から子供達がこのオリジナルTシャツを着用しており、行事の際には教職員や保護者が着用するなど、心をつなぐTシャツにもなっている。お揃いのTシャツでPTA会員の心もつながる



プロジェクト第3弾 南陽台コンサート・セミナーゲストの招聘

- 本校ではこれまで、成人教育委員会が中心となり、P T A会員同士の交流を目的として、年4回の家庭教育セミナーを開催してきた。しかし、事前にアンケート調査を実施するなど、運営側に大きな負担感があった。近年は、誰しも必要な情報を必要な時に得られる手段があり、興味に合わせたセミナーを企画する必要感も感じられなくなったことから、活動を年1回に削減。その1回は、学校行事である「南陽台コンサート」の第Ⅱ部に組み込み、文化芸術を肌で感じられるゲストを招くこととした。令和4年度はセミナーゲストとして高崎高校和太鼓部を、令和5年度は高崎女子高校マンドリン部を招待した。地元の高校生が活躍する姿を見ることで、子供達が将来に向けて目標や希望をもち、親子で将来を考えるよい機会となっている。



子供達・PTA・地域をつなぐ「南陽台コンサート」

「提言R5」を踏まえ、時代に合った参加しやすいP T A活動に

- 群馬県教育委員会が作成した「提言R5」を受け、土曜日に行っていたP T Aスポーツ親善大会や各種会議は廃止とした。また、土日における地域行事についてもP T Aとしての参加を極力控えたい旨を説明し、地域の理解もいただいた。一方、子供達の学習環境美化を目的としたP T A奉仕活動は、今後も週休日に実施することにした。このように、子供達を中心に据えたP T A活動になるよう事業の精選をしながらP T A活動全体を見直し、本部役員や各会員の負担感の軽減を図るとともに、持続可能なP T A活動を今後も追究していきたい。

<p>名 称</p>	<p>群馬県立前橋高等学校 P T A</p>
<p>会 員 数</p>	<p>829人（令和5年5月1日現在）</p>
<p>組 織 ・ 運 営</p>	<p>1. 組織</p> <p>(1) 本部役員会 18名 (会長1 副会長3 書記6 会計3 会計監査4 顧問1)</p> <p>(2) 理事会 (1年17、2年17、3年16)</p> <p>① 専門部会 文化広報部会 34名 (本部役員9 理事25) 進路生活部会 32名 (本部役員7 理事25)</p> <p>② 学年部会 1 学年部会 22名 (本部役員5 理事17) 2 学年部会 24名 (本部役員7 理事17) 3 学年部会 22名 (本部役員6 理事16)</p> <p>※ 専門部会と学年部会の部会長は本部役員が兼ねる。また、専門部会の理事を学年ごとに分け、学年部会としている。</p> <p>2. 運営</p> <p>(1) 本部役員会 校内の本部役員会 (年4回) のほか、地区・県の指導者研究集会や関東、全国大会に参加している。またPTA会長が県高等学校PTA連合会会長を兼任しているため、県や関東、全国の役員としてPTA会長を始め、副会長も参加している。また、PTA会費に関わる補正予算などの審議を行い、理事会に提案する。</p> <p>(2) 専門部会</p> <p>① 文化広報部会 PTA新聞を年2回(1学期と2学期の終業式)に発行する。原則として週1回程度の編集会議を校内で開催している。また、新聞に掲載するため、学校行事等取材する。生徒の学校生活を一般の保護者に伝えるとともに、提言も行う。</p> <p>② 進路生活部会 3年は8月、1、2年生は10月に、保護者を対象とした進路講演会を主催する。また、年に3回県内一斉に実施されるマナーアップ運動に参加する。</p> <p>(3) 学年部会 進路生活部会が主催する進路講演会を共催するほか、学級懇談会の進行を務める。</p>



主 な 活 動

1. P T A組織の再編、会員が参加しやすい環境づくりや負担軽減
少子化に伴う学級減は本校でも実施された。それは必然的に保護者の減少を伴うもので、昨今の女性の社会進出も相まってP T Aの役員を引き受けていただける家庭も少なくなった。

従来、P T A組織は3部会に分かれていたが、これを2部会に編成し、学年進行で理事を合計30名減らすことにした。本部役員会と理事会がその際に気をつけたことは、理事の負担が増加しないよう、P T A行事を精選し、かつ理事の役割を具体的に明確化することだった。P T A入会式には、その内容をできるだけわかりやすい形で資料にして、P T A理事の依頼も安心して引き受けていただけるような環境作りに努めた。

P T A総会のオンライン化もその一環である。P T Aの意思決定において総会が最重要であることは当然であるとしても、事前の準備や当日の運営等でP T A役員や学校職員の負担は相当なものになる。学校のカリキュラムにも影響を与える。一方で、保護者としても、平日の午後(土曜であったとしても)、仕事を休んでまでの出席は少なくなる。新型コロナ感染症が流行していた3年間、やむを得ずP T A総会をオンラインで実施したが、とくに問題がなかったことから、今年度は本格的なオンライン実施に踏み切った。オンライン開催のメリットは、①総会に先行して実施される理事会を撮影し、これをクラウドに数日間置くことによって、保護者の都合のよい時間に視聴できる。②総会資料をPDF化してクラウドに置くことによって、総会資料作成費用が削減できるとともに総会以降、いつでも資料を確認できる。③P T A役員や学校職員の負担軽減に役立つ。

一方で次のことに留意した。①保護者からの質問権は確保すること。投票期日の数日前に映像と資料はアップして、質問を書面やメールで受け付ける。これらの質問にはできるだけ投票前に回答する。質問と回答はすべて公開する。②不正投票を防止し、責任を持った投票とするために、オンラインによる投票は行わず、書面表決とする。③役員承認後、新役員の「あいさつ」ビデオをアップすることによって会長だけでなく役員全員を周知できる。

これらは会長を始め、本部役員の強いイニシアティブによって実現した。将来は、マナーアップや学校行事の取材など、その都度一般会員からボランティアを募って実施する形態を模索している。

2. 母の会

本校にはP T Aとは別組織の「母の会」がある。昭和27年の校舎全焼からの復興と生徒支援にあたった母親の活動に由来する。P T Aでは手の届かない、細やかな、より生徒に近い支援活動と会員相互の親睦を深める研修旅行を実施している。コロナ前には研修旅行に150名ほどが参加している。

名 称	群馬県立高崎特別支援学校 P T A
会 員 数	202人（令和5年5月1日現在）
組 織 ・ 運 営	<p>(1) 本部役員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長1名（P） 副会長3名（P2/教頭1） 書記3名（P2/T1） 会計3名（P2/事務長） 会計監査2名（P） 顧問1名（校長） ・年5回の役員会、大会参加。 <p>(2) 運営委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本部役員、専門委員会委員長、校長、教頭、事務長 （議題により小学部・中学部・高等部の各主事が参加） ・各会議の決定。 <p>(3) 委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○進路委員11名（P10/T1） 進路懇談会や進路学習会の企画。保護者への進路に関する情報提供。 ○厚生委員20名（P19/T1） ショッピング大作戦の企画運営、懇親会の企画運営。 ○広報委員12名（P11/T1） 会報の作成。 ○保体委員21名（P20/T1） 小学部、中学部の体育的な行事の準備片付けと写真撮影などの記録。学校保健委員会への参加。 ○環境委員41名（P40/T1） 校内の除草や落ち葉清掃等の環境整備。
主 な 活 動	<p>○組織の再編成</p> <p>藤岡特別支援学校、富岡特別支援学校の設立により本校の児童生徒が減少し、居住地域や学年の人数にアンバランスが生じた。人数不足のため何度も役員にならなくてならない状況が生じたので負担の平均化を図るために組織を5つの専門委員会に再編成し、会員はいずれかの委員会に所属することとした。このことは会員がこれまで以上にP T Aに関心を持つきっかけにもなった。</p> <p>○ショッピング大作戦</p> <p>学校周辺にはコンビニ等の店舗はもちろん自販機ですら無い環境のため買い物学習の機会は限られている。この企画は、買い物学習の機会を設けるだけでなく、買い物する楽しさを経験するとともに、楽しい思い出を作れるものとして考えられた。また、企画を担当する厚生委員全員が携われ、自宅でできる活動は何かと考え、企画をPRするためのポスターやクリスマスツリーに飾るオーナメントの色塗り、児童生徒一人ひとりに向</p>

けたメッセージカード作りなどを計画した。当日は、「これください」「〇〇円になります」「ありがとうございました」等の会話が弾み、短時間だが充実した活動となった。



ポスター



オーナメント メッセージカード



袋詰め作業



記念撮影



支払い



おもちゃ選び

○進路学習会・進路懇談会

進路学習会では、主に西毛地区に新規開設した福祉サービス事業所の方を招いて活動内容、送迎、支援体制の実際について伺い、実習先、進路先の選択に役立てている。

進路懇談会では、グループホームの方を招いて生活環境や支援体制等の実際について伺い、グループホームについて理解を深め、進路選択に役立てている。



進路学習会



進路懇談会